

シーニックバイウェイ北海道 候補ルート

(仮称)どうなん・追分シーニックバイウェイルート
～汐風薫るいにしえの道～

ルート運営活動計画の骨子



平成20年3月

(仮称) どうなん・追分シーニックバイウェイルート運営代表者会議

1. 当該ルートのエリア

西渡島・南檜山地域は、長い歴史を誇る松前の城下町風情と種類を誇る桜の景観や福島から知内にかけての松前矢越道立自然公園、乙部から江差、松前にいたる日本海の荒波がつくり出した海岸線などの美しい自然と景観にあふれています。北海道誕生の地といわれる上ノ国や松前は歴史文化の宝庫であり、厳しい歴史風土から生まれた江差追分は松前城や上ノ国の勝山館跡とともに北海道遺産に指定されています。また江差の開陽丸や木古内の咸臨丸、上ノ国の昇平丸、各地域の箱館戦争の足跡など、地域全体に幕末から明治維新にかけての歴史資源が数多く残されています。また福島の殿様街道や知内の小谷石山道、松前の白神山道など、歴史資源の発掘や伝承の取り組みも地域全体に広がっています。

奥尻をはじめとする海岸線の町はウニ、アワビ、イカ、マグロ、カキ、ホタテなど、新鮮な海の幸を産出し、厚沢部のメイクインや知内のニラなど地域を代表するブランド農産物も創出され、温暖な気候と風土、そして豊かな自然条件のもとに産業資源も豊富であります。

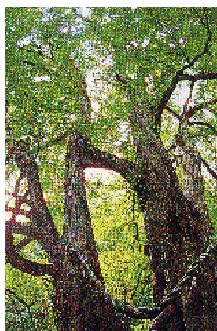
各地には地域特有の歴史や文化、産物を活かした独特なイベントが数多くあり、年間約165万人に及ぶ観光客が訪れています。近い将来には北海道新幹線そして北海道最初の駅として木古内駅が開業、更には函館江差自動車道が整備されることから、交通アクセスも向上し、産業、観光、文化などの様々な分野において、隣接する函館・大沼地域とともに今後の発展が大いに期待されます。

西渡島・南檜山は歴史が古い地域であることから「みち」や「ひと」を通して産業や文化の交流が盛んであり、これまでも住民主体で広域連携のもとに様々な地域活性化をめざす取り組みがなされています。

木古内町・知内町・福島町・松前町・上ノ国町・江差町・乙部町・厚沢部町・奥尻町の9町は、西渡島及び南檜山を一つのエリアとして捉えて、シーニックバイウェイ北海道の制度を通して、国道228号をはじめとする各国道や道道、奥尻の海路の各区分を対象として様々な地域資源を活かした広域連携活動を展開し、その目的である「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」の実現に向けて取り組みます。

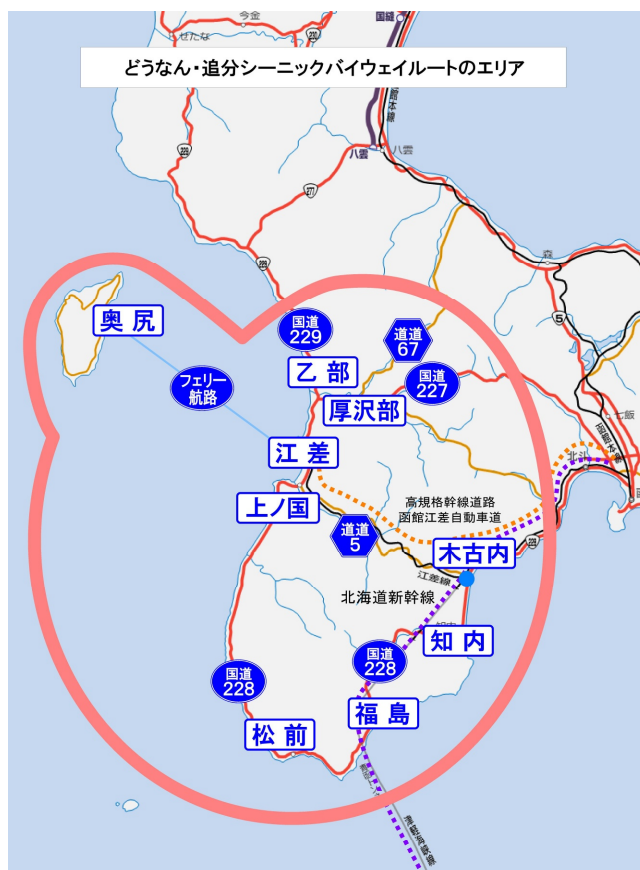
エリア市町村

木古内町
知内町
福島町
松前町
上ノ国町
江差町
厚沢部町
乙部町
奥尻町



▶ エリアの主な幹線道路

国道228号
国道229号
国道227号
道道江差木古内線
道道八雲厚沢部線
道道上磯厚沢部線
道道奥尻島線
江差奥尻間の海路
函館江差自動車道



2. 当該ルートの名称

どうなん・追分シーニックバイウェイルート ～汐風薫るいにしへの道～

地域全体の一体感と親しみやすさとともに、
日本が誇る歴史文化の一つである「江差追分」
を用いて名称としました。



3. 当該ルート形成へ向けての流れ

～地域づくり交流連携フォーラム・アクションプランとの関連～

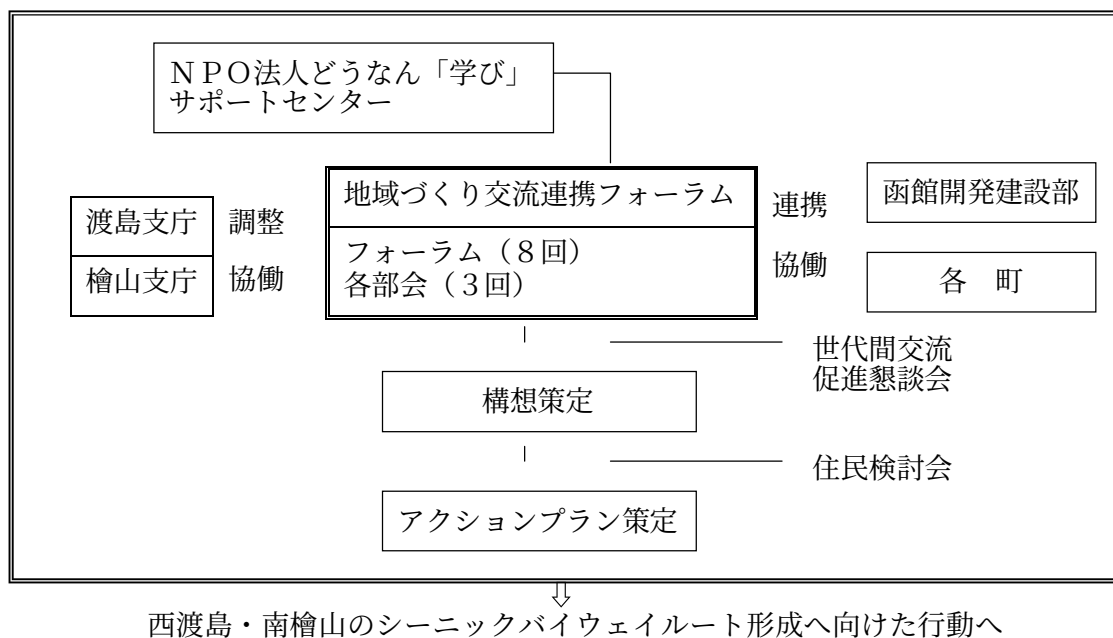
同一規模そして構造の町村がある西渡島及び南檜山では、市町村合併や新幹線など広域的なインフラ整備の時代を迎えて、町村等の枠を越えて住民そのものが主体となって広域連携のもとに新たな地域づくりをめざす声が高まってきました。

平成17～18年度に、渡島及び檜山支庁が連携して、官民協働のもとに西渡島及び南檜山9町の住民を委員とする『地域づくり交流連携フォーラム』が設置され、交流人口の拡大などをテーマに「滞在交流観光部会」「みち・食・文化連携部会」「新産業・人材活用部会」「イベント連携部会」の議論を通して具体的なアクションプランが策定されました。

(別資料参照)

このアクションプランにもとづく様々な交流と連携による地域づくりの実現のために、西渡島及び南檜山地域のシーニックバイウェイルート形成に向けての活動が展開されました。

地域づくり連携フォーラムの構成



4. 当該ルートの特性と課題

当地域は下記に示すような特性をもち、北海道発祥の地としての歴史性、そこから生まれた文化資源が数多くあり、四季折々の風情を生む手つかずの森林や海浜等の自然や景観資源、その風土に生きている素朴な人々がいます。また地域の自然に育まれた新鮮な地場産品を開発加工することによって産業育成が図られるなど、各分野で地域資源を活かした地域力再生の取り組みが始まっています。

各地域での単一的な取り組みの枠をこえて、人材や産業の広域連携と情報発信の充実を図り、特有の歴史・文化・自然を活かして、地域全体として活力と誇りをつくり上げる必要があります。

◆歴史・文化 西渡島及び南檜山は、古くは縄文期、そして江戸期から明治期と、北海道でも最も歴史的な変遷があった地域であり、幾多の歴史的な人物・文化資産を有し、それぞれの地域において伝承されています。その代表的なものとしては、縄文遺跡・アイヌ文化・上ノ国・安東氏・松前藩・北前船・ニシン漁・戊辰戦争・開陽丸・咸臨丸・江差追分・松前神楽などがあり、いずれも地域全体に広域的な関連性を持つことができ、且つ連携によって付加価値を高めることができる地域資源であります。

◆自然・景観 勇壮な日本海には奥尻島や大島・小島が浮かび、その荒波に揉まれた海岸線、幻想的な漁火が漂う津軽海峡、千軒岳を筆頭に道南杉やヒバやブナが茂る山々が連なり、北の大地特有の魅力あふれる自然と景観が残されています。各地域には自然そのものが長い歴史の中で生み出した人々の心を癒す景観が残されています。種類の多さを誇り情緒あふれる松前の桜は道内でも有数の名所であり、松前城とともに歴史と自然の調和を演出しています。

また檜山ではヒバ、渡島では杉などの育成保全についてもまちづくりの一貫として地域を挙げて取り組まれています。

◆地域産業 各町とも歴史的形成は異なりますが、農業・漁業・林業を基幹産業として、一部は官公庁や商業の町として今日に至っていますが、地域全体が少子高齢化や人口減少の波にもまれています。

北の大地と海に育まれた農海産物は新鮮美味であり、各地域では地場産品を活用した加工品を含めてブランド化した産品も創出され、様々な試みも継続してなされています。

◆観光 松前・上ノ国・江差をはじめとして各地域は北海道を代表する歴史や文化の宝庫として知られ、それらに因んだ伝統イベントや祭りも各地で伝承されています。北海道発祥の地域であることから知られざる歴史も多く、その神秘性と新たな発掘への期待も大きいものがあります。

地域全体には北海道特有の食が豊富であり、また自然や歴史を活用した体験観光の素材も多々あり、観光的要素は高いといえます。

観光都市・函館にも隣接していることから交通利便性も高く、今後は高速交通網の整備により一層広域的な交流観光の条件も整います。

5. 当該ルートの活動計画

1) 活動テーマ

「ひと」と「みち」がつなぐ北の大地の地域力再生へのチャレンジ

2) テーマ内容

西渡島及び南檜山地域は、国道227・228・229号、道道江差木古内線の他、江差と奥尻の海路でつながり、人と産業、文化が交流する一つの生活地域圏を形成しています。北海道の歴史誕生の地である西渡島及び南檜山地域は、そこに生活する人々によって育ま



れた歴史や文化資源の宝庫です。また津軽海峡や日本海の荒波によって形成された素朴な自然景観は四季折々の風情を魅せています。その風土から育まれた海と山の幸は新鮮美味であり北海道の食を代表するものです。

北海道新幹線や高規格幹線道路函館江差自動車道など新たな高速交通網の時代を迎えて、地域に生活する私たち自身が地域づくりを自らの問題として取り組み、幾多の知恵をもとに議論し、「まち」という概念をこえて地域全体を視野に入れて行動しなければなりません。

地域の一つひとつの資源は地域に生活する人々の手によって花開きます。そして連携することによって更なる大輪の花を咲かせることも可能であります。

シーニックバイウェイ北海道の制度の理念にもとづき、こうした豊かな地域資源をそこに生活する住民の一人ひとりが再発見し、「みち」と「ひと」を媒体として地域が連携することによって他に誇り得る地域力を再生し、交流人口を拡大して地域全体の活性化を図ります。

3) 活動方針・内容

- 1) 歴史・文化を活かした誇りある地域づくり
- 2) 豊かな景観を活かした優しい環境づくり
- 3) 地域産業を活かした食や体験を楽しむ観光づくり
- 4) 情報と人材を活かした輝く地域づくり



活動領域	活動方針	具体的な活動方策と内容	
誇りある地域づくり	歴史・文化を活かした誇りある地域づくり	◆各地域を結ぶ歴史の道づくりの実施 (歴史体感ウォークラリーなど) ◆道南の歴史を学び伝える学習講座の開催 (定期的な歴史講座など) ◆道南の歴史や文化を正しく伝える広報活動の実施 (歴史・文化の調査やパンフレット製作など)	歴史・文化部会
美しい景観づくり	豊かな景観を活かした優しい環境づくり	◆各地域の隠れた景観資源の発掘 (景観資源の診断・他ルートの景観や環境づくりの学習など) ◆各地域の景観資源や環境の保全と育成 (育てる人や守る人の発掘・植樹活動・環境保全や美化運動の連携・エコツアーの実施など) ◆地域の資源景観や環境に関するPR活動の実施 (景観散策ルートマップ・花の輪運動・IT活用・シーニックデッキやカフェなど)	景観・環境部会
魅力ある観光空間づくり	地域産業を活かした食や体験を楽しむ観光づくり	◆各地域が連携した交流観光プログラムの作成 (各地域イベントの連携と交流・オンパクとの連携・地域間交流観光など) ◆特徴ある地域産業を活かした体験観光の開発と受入態勢の構築 (体験観光メニューづくり・NPO法人との連携・修学旅行誘致など) ◆地域産品を活かした食の開発と新たな観光ルートの構築 (北の大地の弁当祭りやコンテスト・食パンフなど)	食・観光部会
活力ある人材づくり	情報と人材を活かした輝く地域づくり	◆地域を統括した情報発信の態勢づくり (ブログやHP開設・都市部へのプロモーション支援など) ◆地域の人材の発掘と活用 (人材データベースの管理と活用など) ◆人材に関する後継者の育成 (定期的な講習会の開催など)	人材・情報部会

6. 当該ルート¹の組織と運営体制

当地域では、西渡島及び南檜山の9町から下記の30団体（平成20年3月8日現在）が参画しており、前記の活動方針ごとに「歴史・文化部会」「景観・環境部会」「食・観光部会」「人材・情報部会」の4部会を構成して活動しています。



1) 活動団体一覧と部会構成

町村名	参画団体名	所 属 部 会
木古内町	木古内商工会	食・観光
〃	木古内町観光協会	景観・環境
〃	咸臨丸とサラキ岬に夢みる会	歴史・文化
〃	きこない特産会	食・観光
〃	木古内町駅前中央商店街組合	人材・情報
知内町	知内商工会	景観・環境
〃	知内観光協会	食・観光
〃	フロンティア21	食・観光
福島町	福島町商工会	人材・情報
〃	福島町観光協会	景観・環境
〃	福島町千軒地域活性化実行委員会	食・観光
〃	かがり火コンサート実行委員会	歴史・文化
〃	山歩集団 青い山脈	景観・環境
松前町	松前商工会	景観・環境
〃	松前観光協会	歴史・文化
江差町	江差町歴まち商店街協同組合	景観・環境
〃	江差商工会	人材・情報
〃	江差観光コンベンション協会	食・観光
〃	江差追分会	歴史・文化
上ノ国町	上ノ国町商工会	歴史・文化
〃	上ノ国町観光協会	食・観光
厚沢部町	厚沢部商工会	食・観光
〃	厚沢部町観光協会	歴史・文化
乙部町	乙部町魚つき森づくり推進協議会	景観・環境
奥尻町	奥尻商工会	景観・環境
〃	奥尻島観光協会	食・観光
函館市	NPO法人どうなん「学び」サポートセンター	人材・情報
〃	函館バス(株)	食・観光
池田町	NPO法人 自然体験学校	食・観光
札幌市	南檜山・西渡島の新たなネットワークを支援する会(仮称)設立準備会	人材・情報

▷ 事務局 〒049-0422 北海道上磯郡木古内町字本町 2 1 7 番地
木古内商工会内
TEL 01392-2-2046 FAX 01392-2-3411

2) 運営体制

- ① 当該ルートは上記の団体で組織し、円滑な運営を図るために規約を制定するとともに役員・事務局を選任し、定期的に役員会・全体会議・各分会・事務局会議を開催して十分な議論のもとに活動を展開します。特に分会を積極的且つ継続的に開催して計画的な事業運営を図ります。 ※規約・役員名簿は別紙参照
全体会議には、渡島・松山支庁、各構成町、北海道開発局函館開発建設部等にオブザーバー参加を呼びかけて連携を図っています。
- ② 活動団体の意欲と資質を高めるために自ら定期的にシーニックバイウェイルートの理念を学習するとともに、他ルートとの交流連携を積極的に図ります。
- ③ 当該ルートの活動を充実させるために、参画団体の更なる発掘を呼びかけ、地域全体への情報発信と活動の周知を積極的に図ります。

7. 今後の取り組み日程（指定ルート申請に向けて）

当該ルートは、的確な会議運営のもとに徹底した議論を通して行動計画を立案し、会員の十分な相互理解と学習のもとにルート指定及びその後の活動に向けて事業を展開します。

年 月	運 営 内 容
H19 12月	◇運営代表者会議設立総会
H20 1月	◇第1回学習会 第1回分会 ※正副部長互選・事業内容の協議 第1回全体会議 ※活動計画の全体協議・名称決定 ◇参画の継続募集 ◇シーニックバイウェイの継続学習 ◇シーニック通信の発行(3ヶ月に1回程度) ◇第1回役員会・事務局会議 ※候補ルート申請の準備
2月	◇第2回分会・全体会議 ※活動計画の詳細協議・候補ルート申請書の協議
3月	◆候補ルート申請
4月	◇第3回分会・全体会議 ※事業の具体的協議 ◇定期的に行政機関と連絡調整
5月	◇第4回分会・全体会議
6月	第2回学習会
7月	◇モデル事業の実施(～9月) ※歴史体感ウォークラリー ※北の味な弁当まつり ※エコツアーなど ◇学習会の実施
8月	◇広報活動 ※事業の周知と参画募集 ◇交流親睦事業
9月	◇第5回全体会議 ※指定ルート申請の検討 ◇エリア内町長の意見聴取 ◆指定ルート申請
11月	◇第6回全体会議 第5回分会 ※本格的な事業展開の協議・準備 第3回学習会
H21 3月	◇平成21年度総会 ※本格的な事業の企画・展開



◇参考資料

1)活動団体名簿

3)役員名簿

4)地域の特性の絵図(4 の資料)

2)規約

5)地域づくり交流連携フォーラムアクションプラン